

大豆防除情報（ハスモンヨトウ、カメムシ類）

令和 8 年 9 月 3 日
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

大豆開花期は、ほぼ平年並みとなっていますが、NOSAI の設置したフェロモントラップのヨトウガの成虫数が 9/1 時点で大きなピークを迎えています。そこで、カメムシ類・ハスモンヨトウ・紫斑病を対象とした 3 種混合防除を下記の日程で実施します。

なお、カメムシ類による被害防止には、3 種混合防除 20 日後を加えた 2 回防除が効果的です。今後は気温も下がり、カメムシ類の多発生が予測されるため、2 回防除を意識して青立ち株低減に努めましょう。（※本情報掲載の農薬登録情報は令和 8 年 9 月 3 日現在）

【3 種混合防除/9 月 10～17 日】

	農薬名	希釈倍率/10a 当り使用量	収穫前日数	対象病害虫
液剤 /乗用 管理機	グレース乳剤 —— (または) ——	2000～3000 倍/100～300L	14 日前まで	ハスモンヨトウ
	プロフレア SC	2000～4000 倍/100～300L	前日まで	
	スタークル顆粒水溶剤	2000 倍/100～300L	7 日前まで	カメムシ類
	トップジンM水和剤	700～1500 倍/100～300L	14 日前まで	紫斑病
無人 航空機	グレース乳剤 —— (または) ——	16 倍/0.8～1.6L	14 日前まで	ハスモンヨトウ
	プロフレア SC	16～32 倍/0.8～1.6L	前日まで	
	スタークル液剤 10	8 倍/0.8L	7 日前まで	カメムシ類
	アミスター2070アブル	16～24 倍/0.8L	7 日前まで	紫斑病

!!注!! 無人航空機防除体系では、薬剤の沈殿を避けるため、使用直前に混合する。

【補正防除/カメムシ類：3 種混合剤散布 20 日後、ハスモンヨトウ：多発時】

カメムシ類の多発を見越して、補正防除を実施します。なお、ハスモンヨトウによる食害葉の発生が多くなってきたら、グレース乳剤で補正防除を実施します。

	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/10a 当り使用量	収穫前日数
液剤 /乗用 管理機	カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤 またはキラップ70アブル	2000 倍 /100～300L	7 日前まで
無人 航空機	カメムシ類	スタークル液剤 10	8 倍 /0.8L	7 日前まで
		—— (または) —— キラップ70アブル	16 倍 /0.8L	

☆農作業時の熱中症に注意しましょう!!

●日中の気温の高い時間を避け、涼しい時間帯に作業 ●こまめな休息と水分補給

【農薬の安全使用上の注意】①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！ ②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！ ③散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！ ④防除履歴の正確な記帳！